

令和6年度
学校評価アンケート結果



令和7年2月
阿南市立新野中学校

令和6年度調査

1 回答期間 令和6年12月17日(火)～令和7年1月6日(月)

2 回答者 教職員12名 生徒37名 保護者33名

3 回答方法

各質問項目に対して、「4 よくあてはまる」「3 ややあてはまる」「2 あまりあてはまらない」「1 まったくあてはまらない」の4段階で回答していただき、「4よくあてはまる」「3ややあてはまる」を肯定的意見、「2あまりあてはまらない」「1まったくあてはまらない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

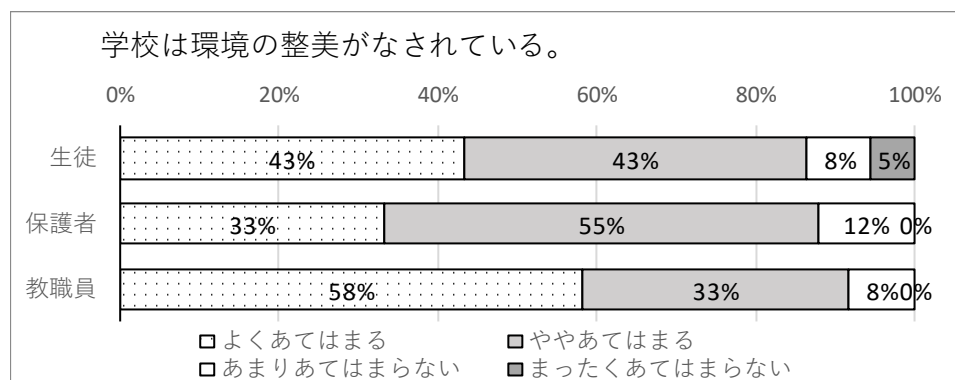
4 結果の活用

調査結果は、2月にとりまとめ、全教職員に配布し、課題と改善点を明らかにするとともに、次年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標の参考にします。また、保護者や学校運営協議会委員の方々にも調査結果をお示し、より良い学校運営に努めていきます。

また、ホームページに掲載して、周知を図ります。

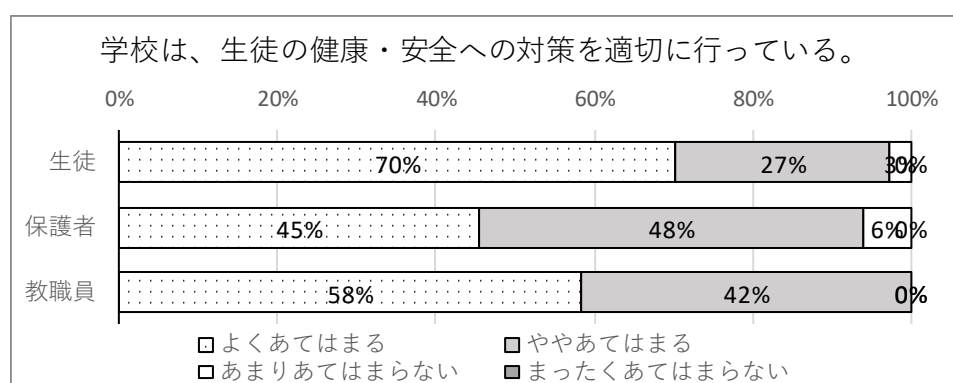
1 学校の環境に関すること

【設問1】



生徒86%、保護者88%、教職員91%が肯定的な回答をしています。本校用務員による花の管理や営繕担当による修理場所の改善等、各職員が積極的に取り組んでおります。また生徒も各所でよく手伝ってくれています。これからも学校環境の整美に努めます。

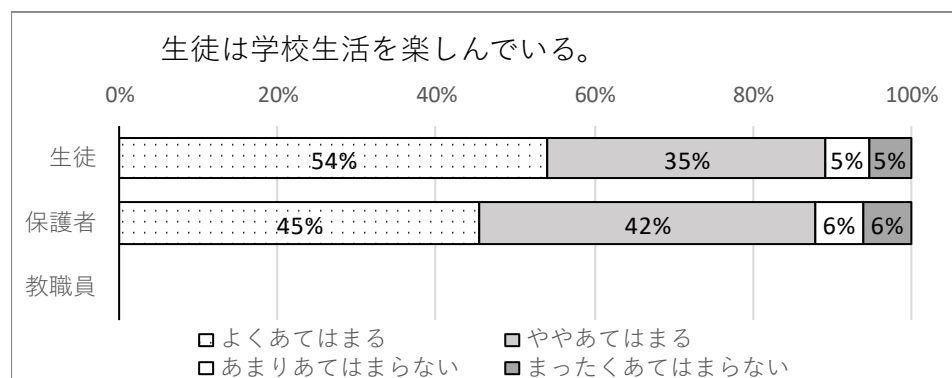
【設問2】



生徒・保護者・教職員とも、90%以上が肯定的な回答となっています。これからも生徒の健康を第一に考え、安心・安全に学校生活を送ることができるように努めます。

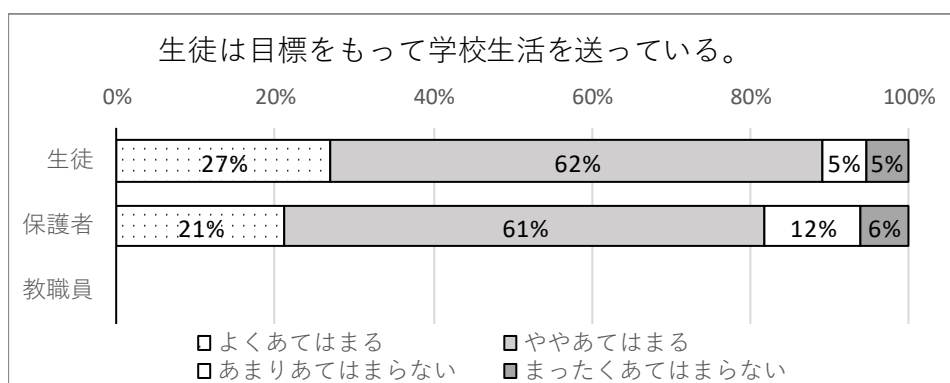
2 生徒の学校生活に関すること

【設問3】



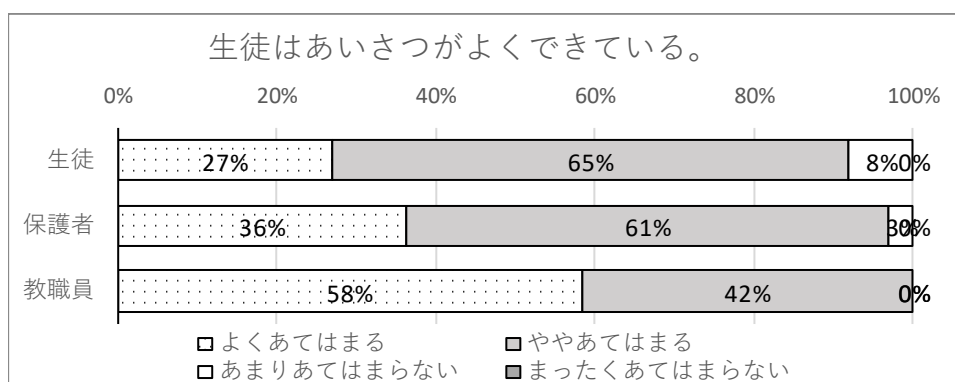
否定的な回答をした生徒が10%、保護者は12%となっています。教職員はこの数字を誠実に受け止め、すべての生徒が「学校生活を楽しんでいる」と回答できるように、生徒に寄り添った、教育活動に取り組んでまいります。

【設問 4】



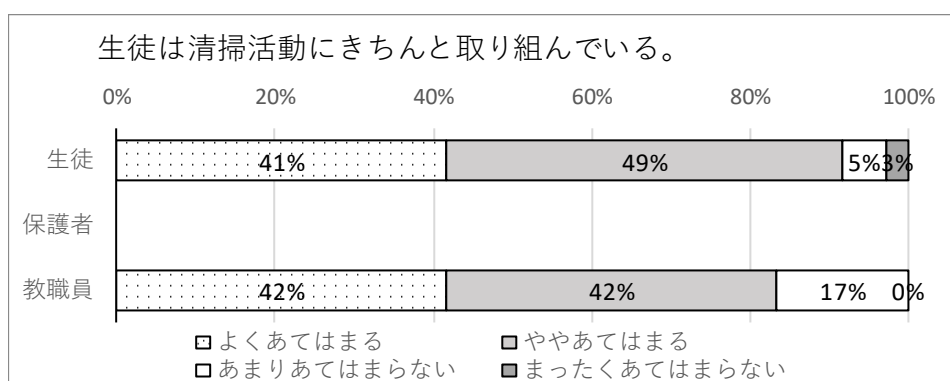
否定的な回答をした生徒が10%、保護者は18%となっています。生徒がそれぞれの目標に向かって学校生活を送り、自分の生活を振り返りながら成長することができるように、支援してまいります。

【設問 5】



生徒の92%、保護者の97%、教職員の100%が肯定的な回答をしており、昨年度から肯定的な回答の割合が増えています。町民の方々からも褒めていただくことが多く、喜んでおります。生徒会専門部が毎朝のあいさつ運動をおこなっていますが、今後もさわやかなあいさつが行き交う学校を目指して取り組んでまいります。

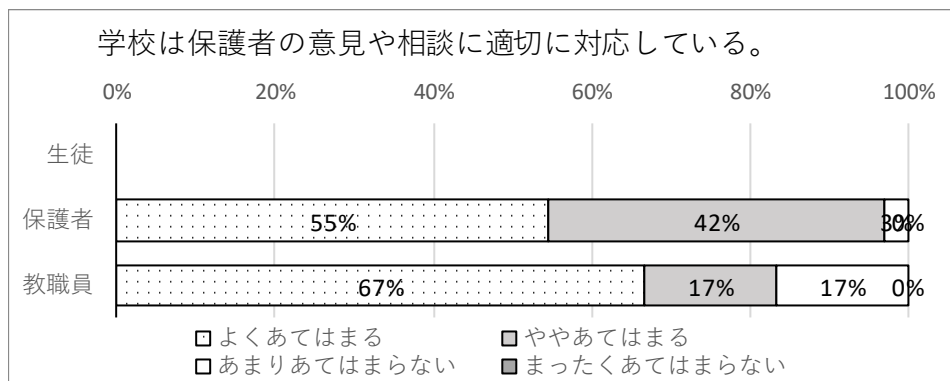
【設問 6】



生徒の90%、教職員の84%が肯定的な回答をしていますが、昨年度と比べて生徒、教職員とも肯定的な回答がやや減っています。毎日の15分間の清掃活動に、誠実に取り組む生徒を育成できるように、今後も取り組んでまいります。

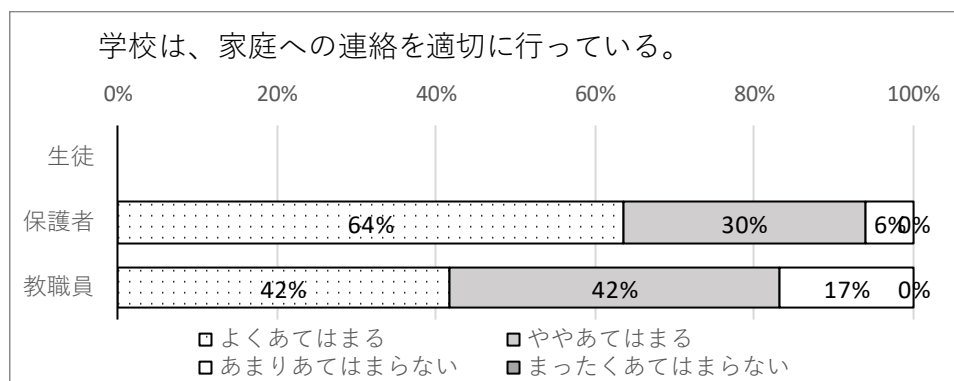
3 生徒指導に関すること

【設問 7】



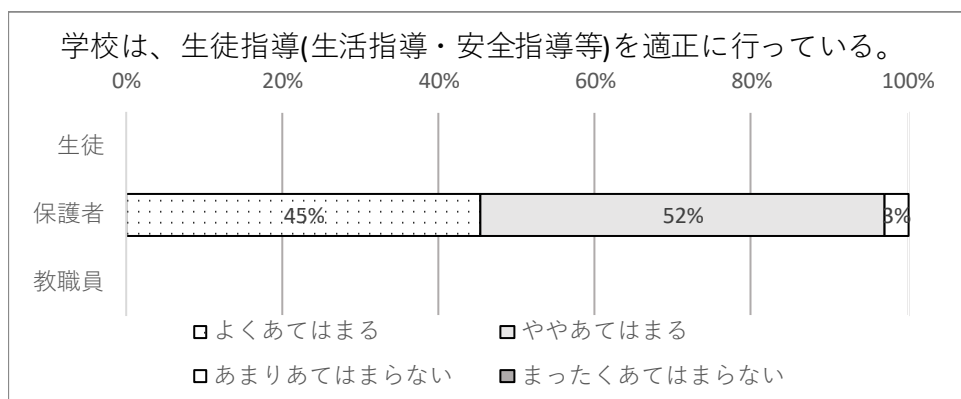
保護者の97%、教職員の84%が肯定的な回答をしています。生徒の健全育成に、学校と家庭との連携は重要です。今後も、保護者の意見や相談に対して誠実に対応して参りたいと考えておりますので、いつでもご相談いただきますようお願いいたします。

【設問 8】



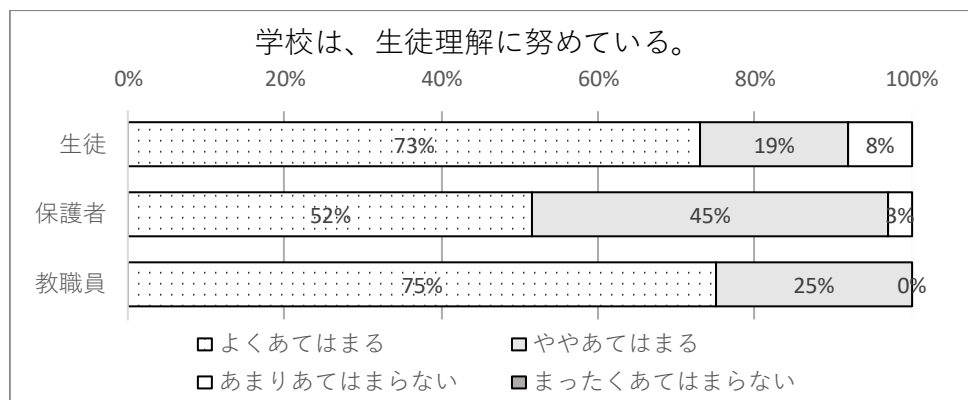
保護者の94%、教職員の84%が肯定的な回答をしていますが、昨年度より、保護者、教職員ともに数値は下がっています。学校生活の中で、気になることがあった場合などは特に、適切な家庭連絡に努めてまいりたいと思います。

【設問 9】



保護者の97%が肯定的な回答をしています。否定的な回答が3%となっています。生徒の思いに寄り添った生徒指導を心がけておりますが、気になることなどございましたら、気軽にご相談いただけますようお願いいたします。

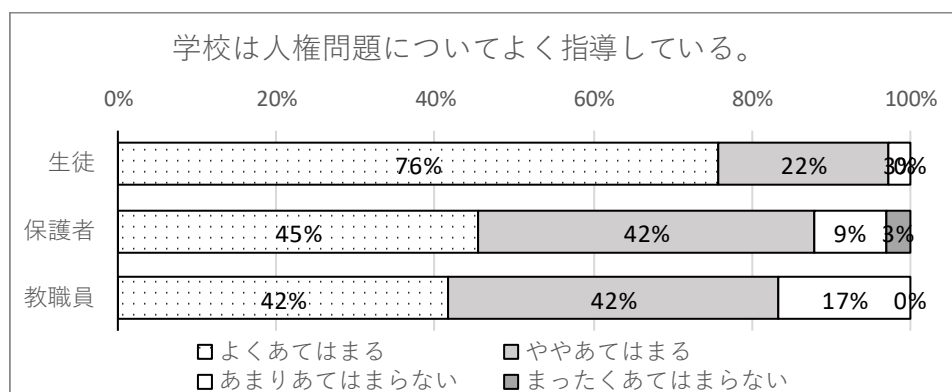
【設問１０】



生徒 92%、保護者の 97%、教職員 100% が肯定的な回答をしていますが、生徒 8%、保護者の 3% が否定的な回答をしています。私たち教職員は、この結果を真摯に受け止め、生徒一人一人の個性を認め、すべての生徒に寄り添った支援ができるように努めてまいりたいと考えております。何か気に掛かることがありましたらいつでもご相談ください。

4 人権教育に関すること

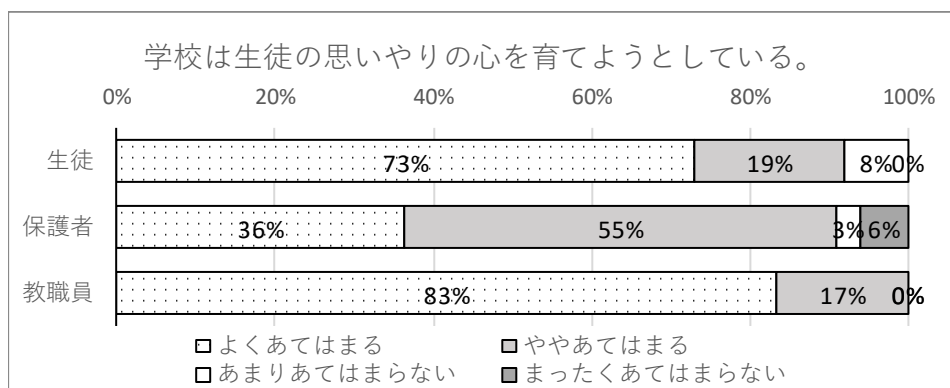
【設問１１】



生徒の 98%、保護者の 87%、教職員の 84% が肯定的な回答をしています。生徒の 3%、保護者の 12%、教職員の 17% は否定的な回答をしています。教職員の 17% は、今年度の課題を整理し、改善すべきところを改善していく必要があると考えています。

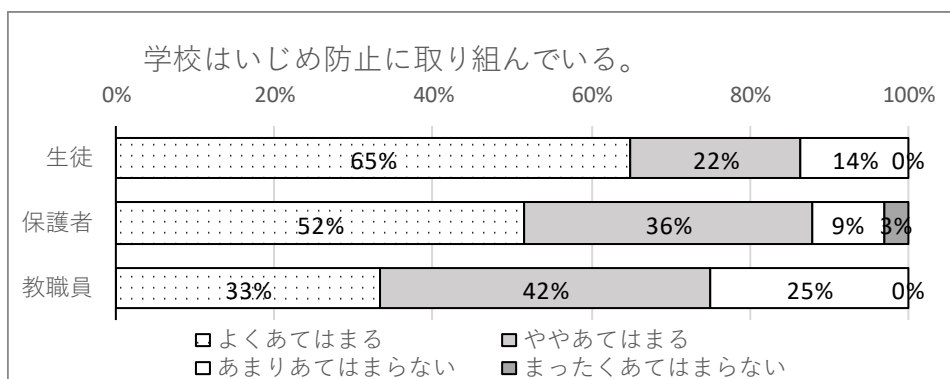
豊かな人権感覚を育てるためには、すべての教育活動を通して人権教育を進めていくことが大切です。生徒の発達段階に応じて段階的・計画的に人権教育が推進できるよう、今後も教職員研修を充実させながら、取組を進めてまいります。

【設問１２】



生徒の９２％、保護者の９１％、教職員の１００％が肯定的な回答をしています。一方で、保護者の９％、生徒の８％が否定的な回答をしており、教職員の回答との意識の差が見られます。徳島県教育委員会で取組を進めている、一人一人を認め、生徒の良さを伸ばしていく「ポジティブな行動支援」に本校でも取り組んでおります。今後も、生徒の言動の背景をみつめ、温かな支援を通して生徒の思いやりの心を育てられるように努めてまいります。

【設問１３】

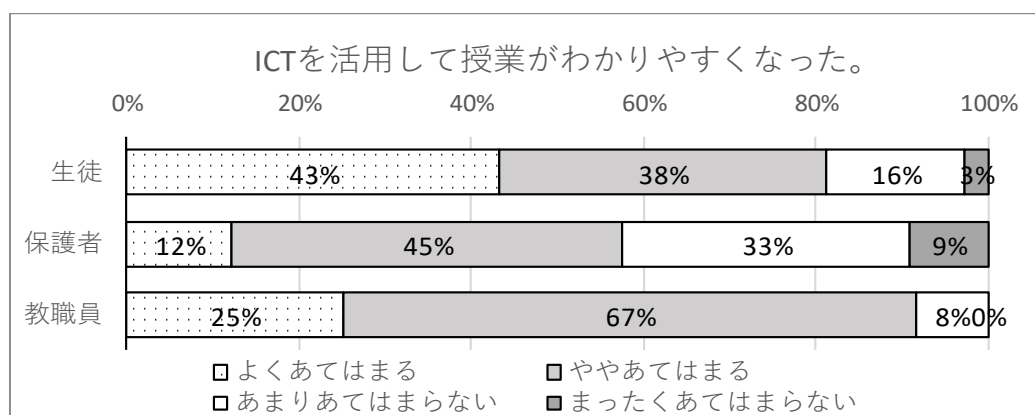


生徒の８７％、保護者の８８％、教職員の７５％が肯定的な回答をしています。生徒の１４％、保護者の１２％、教職員の２５％は否定的な回答となっています。この結果を真摯に受けとめ、いじめ防止に向けて、より具体的に取り組む必要があると考えています。

いじめは、どの生徒にもどの学校にも起こりうるという認識のもと、定期的に生徒対象の学校生活に関するアンケートを実施し、いじめをゆるさない学校づくりを進めているところです。保護者の皆様のご協力・連携は欠かせませんので、普段の生活の中で気になることなどございましたら、いつでもご相談いただきますようお願いいたします。

5 学習指導に関すること

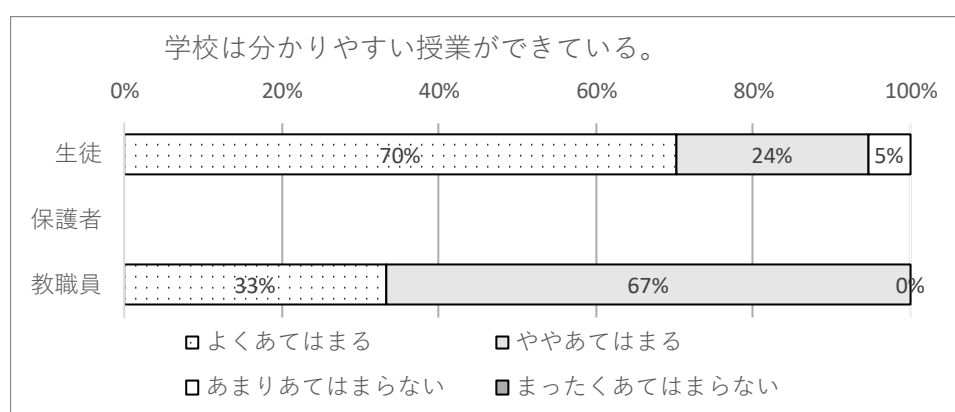
【設問 1 4】



肯定的な回答は、生徒 81%、保護者 57%、教職員 92%でした。保護者への設問では、「お子さんは、ICTの活用で、授業が分かりやすくなったと言っている」、教職員への設問では、「ICTの活用によって指導環境が向上したと考える」と尋ねています。

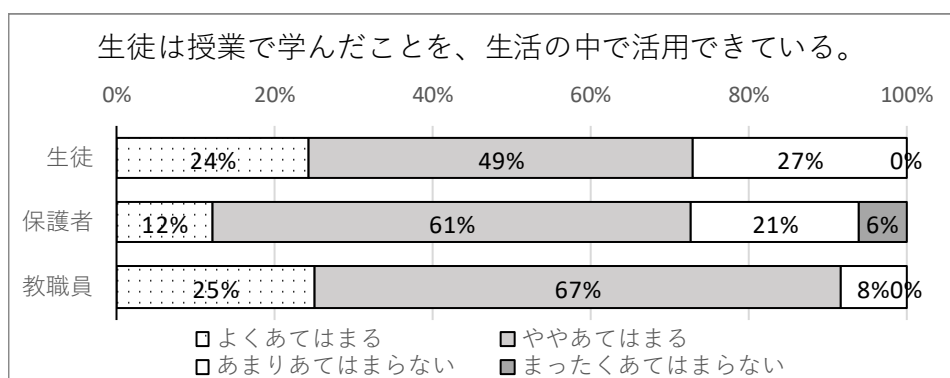
今年度本校では、阿南市教育委員会の指定を受け、ICT機器等の利活用による学力向上の研究を進めてまいりました。この研究に取り組む中で、生徒のタブレット活用能力や教職員の指導力の向上には、目を見張るものがありました。今後も教職員研修を深め、ICT機器をより効果的に活用できるように努めます。

【設問 1 5】



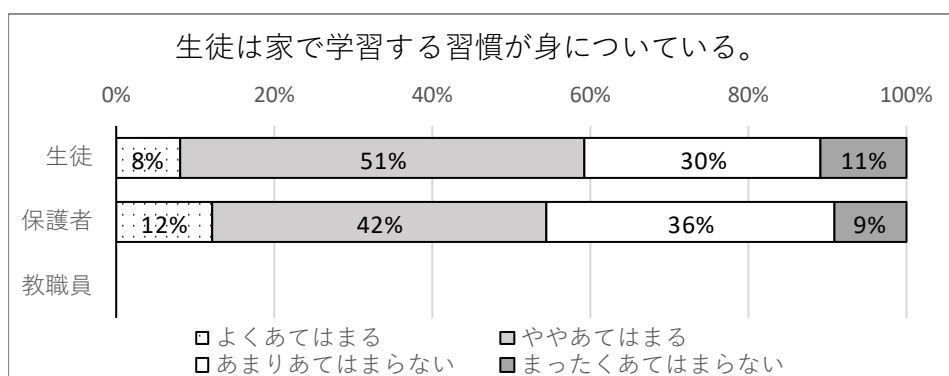
生徒の 94%、教職員の 100%が肯定的な回答となりました。高い数値であることは嬉しく思いますが、教職員にとって「授業づくり」は、永遠の課題であると考えています。各教科の授業をとおして、基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、主体的・対話的な深い学びが実現できるように、ICT機器の活用、グループやペアでの協働学習の推進など、様々な形態を授業に取り入れながら、今後も「分かる授業」の実現を目指して授業実践に努めます。

【設問 1 6】



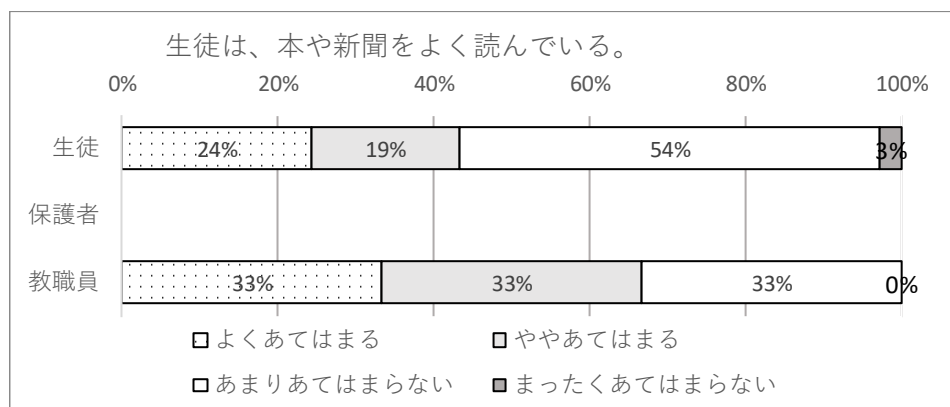
肯定的な回答は、生徒 7 3 %、保護者 7 3 %、教職員 9 2 %でした。一方で、否定的な回答が、生徒 2 7 %、保護者 2 7 %、教職員 8 %となっています。授業で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を、生活の中で活用することができるように、今年度は「毎時間の授業での振り返り」を重点項目として研究を進めてまいりました。今後も、授業での一層の振り返りを大切にし、学んだことが生活の中で活用できる力の育成に努めます。

【設問 1 7】



肯定的な回答は、生徒 5 9 %、保護者 5 4 %となっています。一方で、生徒 4 1 %、保護者 3 6 %が否定的な回答をしています。家庭での学習の習慣は、一朝一夕に身につくものではありません。本校では「自主勉強ノート」の取り組みを進めており、自主学習でノート 1 冊の学習が終わった生徒は、職員室で校長・教頭に提出し、その頑張りを認めた後、新しいノートを本人に贈呈する取り組みを行っております。今後も、家庭学習が習慣化できるように、粘り強く指導を進めてまいります。

【設問 18】

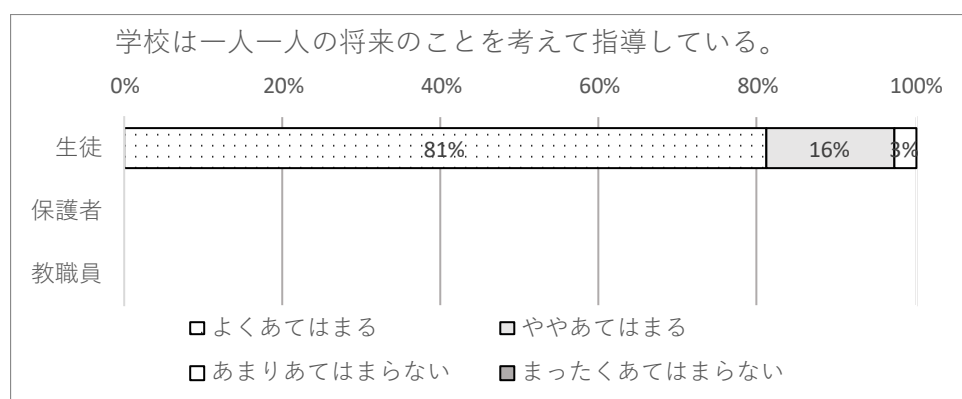


生徒の43%、教職員の66%は肯定的な回答ですが、生徒の57%、教職員の34%は否定的な回答をしています。本校では週4日、午前8時から8時15分までの15分間、朝読書の時間を設けております。また本校の図書室は、週1回勤務してくれている、図書館サポーターが、様々なジャンルの本を、生徒が手に取りやすいように工夫して陳列してくれており、一日中いつでも出入りし、読みたい本を借りたり、室内で読むことができるスペースが設けられています。

さらに、新聞閲覧コーナーを図書室前に設置し、新聞を学習活動に活用する取組も各学年で実施しております。生徒が読書を通して視野を広げ、豊かな感性を育てることができるよう、今後もより一層取り組みを進めてまいります。

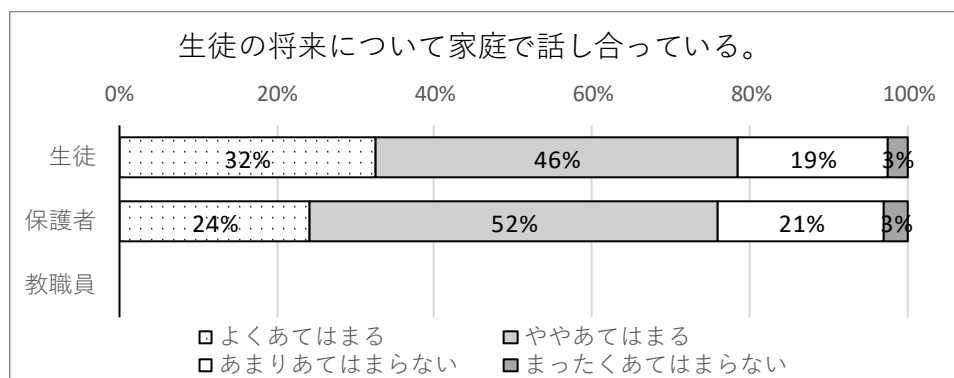
6 進路指導に関すること

【設問 19】



肯定的な回答は、生徒97%となっています。本校では、各学年で系統的に進路学習に取り組んでいます。最近、保護者の皆さまからは、「進路についての適切な情報提供」についてご意見をいただくことができました。今後も時宜に応じた情報提供を行うと共に、一人一人の生徒の思いに寄り添った進路指導ができるように努めます。

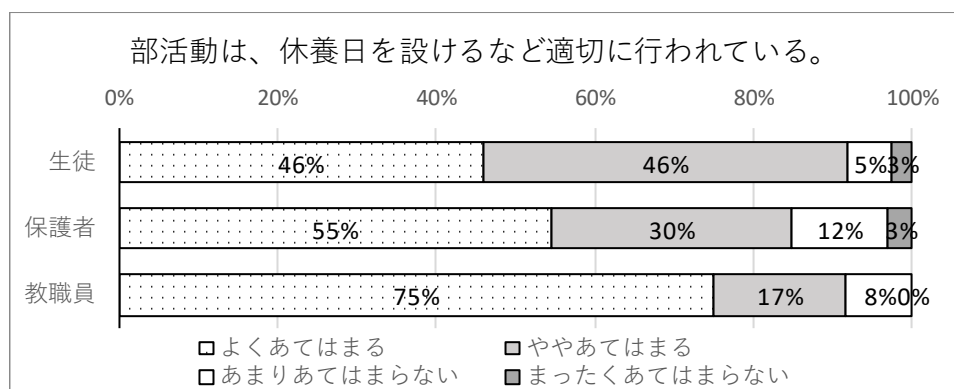
【設問 20】



肯定的な回答は、生徒 78%、保護者 76%となっています。一方で、生徒の 22%、保護者の 24%が、否定的な回答をしています。生徒が主体的に自分の将来について考え、進路選択ができるように、保護者と家庭でしっかり話し合うことが大切だと考えます。家庭で進路について話し合う機会がより多くもてるよう、学校が将来のことや進路選択についての様々な情報を適切に伝えるよう努めます。

7 部活動に関すること

【設問 21】

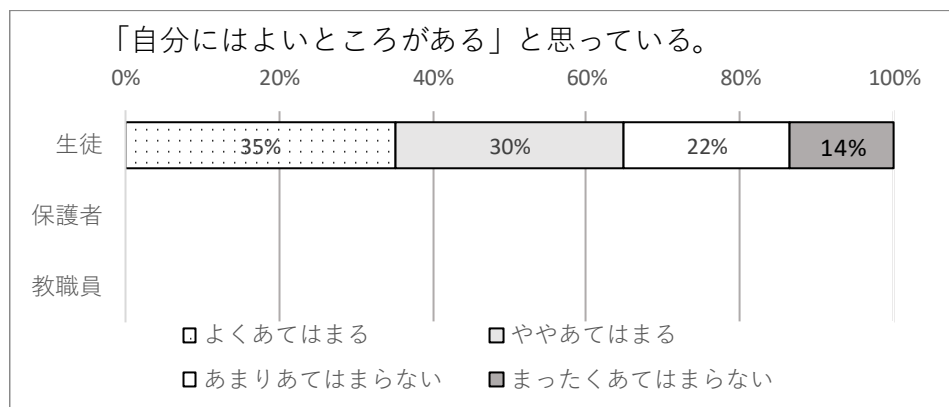


生徒の回答は、「部活動に積極的に取り組んでいる(いた)」について、92%が肯定的な結果となりました。保護者は、上記の設問において85%が肯定的、また教職員は、92%が肯定的な回答となりました。

今年度、陸上部の練習を早朝から放課後に変更するなど、適切な部活動のあり方に向けて、取り組みを進めています。今後も適切に休養日を設けるとともに、生徒が主体的に取り組める活動となるように工夫してまいります。

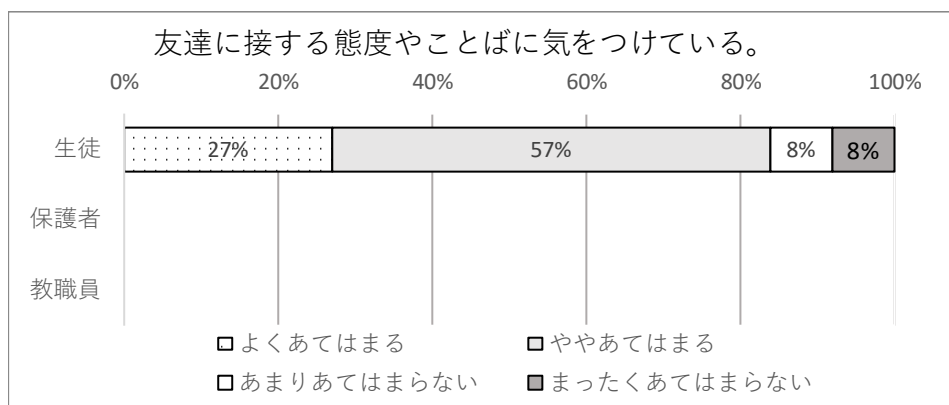
8 生徒自身に関すること

【設問 2 2】



肯定的な回答は65%と昨年度から8%増加はしましたが、否定的な回答が35%という結果となりました。本校生徒43名全員の良いところを、常に実感している我々にとって、とても残念な結果であると感じています。子どもたちが集団または個人の目標を達成した際に、周りの大人がそれとともに喜び、認めることにより成功体験を感じ、生徒の自己肯定感が高まるとも言われます。様々な体験活動を通して、生徒が新しいことに取り組む機会を確保し、達成感を感じることができるよう教育実践に努めてまいりたいと考えています。

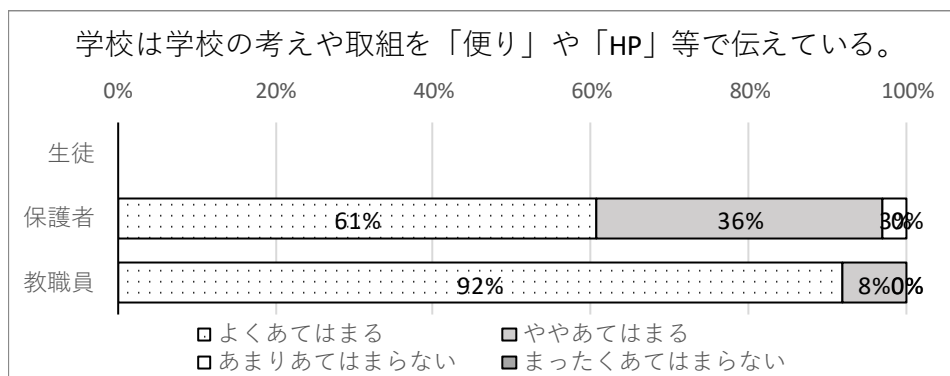
【設問 2 3】



肯定的な回答が84%、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」と回答した生徒がそれぞれ8%となりました。子どもたちが充実した学校生活を送るためには、友達と良好な人間関係を築くことは、大切な要素です。日頃から仲間に対して温かな態度で接することができるように、生徒の様子を見守り、我々も温かな声かけ、ヴォイスシャワーができるよう努めてまいります。

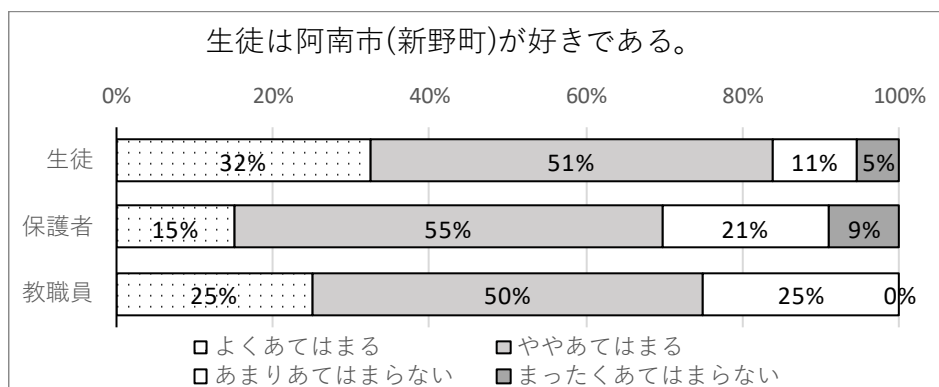
9 開かれた学校づくりに関すること

【設問 2 4】



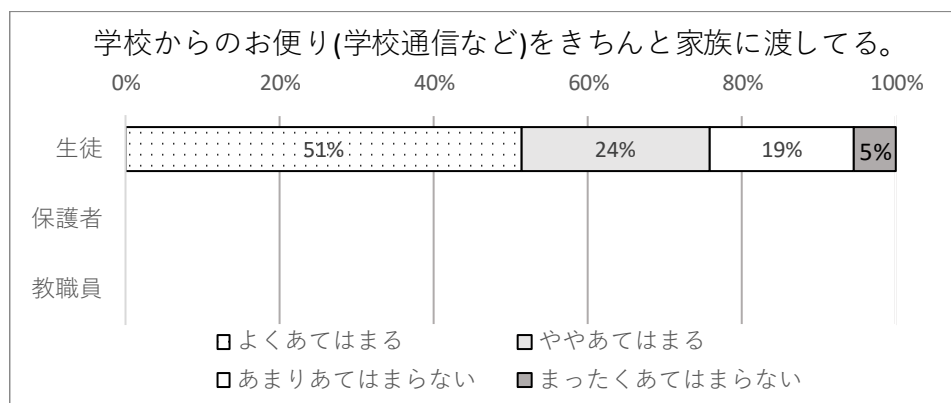
肯定的な回答は保護者 97%、教職員 100%となりました。今後も生徒の学校生活の様子や学校行事などについて、学校通信、学級通信、学校ホームページ等でタイムリーに新しい情報を積極的にお知らせしてまいります。ご家庭で保護者の皆さまがお子さまと学校生活について語り合える場面が増える一助になればと考えています。

【設問 2 5】



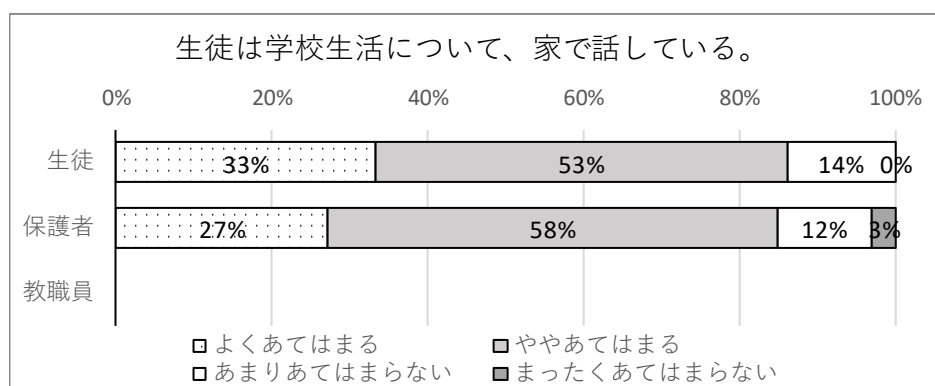
生徒の 83%、保護者の 70%が肯定的な回答をしています。教職員は、「阿南市(新野町)を好きな生徒を育てている」との問いに対して、75%が肯定的な回答となりましたが、25%は否定的な回答結果となり、ふるさとを誇りに思う気持ちを育てるための取組を改めて進めていく必要があると考えています。私たち教職員自身が、ふるさとの良さや地域資源について知ること努め、生徒がふるさとを誇りに思い、地域のために自分に何ができるのかについて主体的に考える学習機会がもてるように取り組みます。

【設問 26】



生徒の75%が肯定的な回答でしたが、25%は否定的な回答となりました。学校通信など、学校から生徒を通してご家庭にお配りしているお便りについては、ホームページにも随時掲載をしております。また、場合によってはマチコミメールを活用するなど、学校からの情報をご家庭に確実にお届けできるように工夫してまいります。また我々の経験上、鞆の中に配布物などがたまっている場合もありますので、定期的にお子さまにもご確認いただければ幸いです。

【設問 27】



生徒86%、保護者の85%が肯定的な回答となりました。一方で、生徒の14%、保護者の15%は否定的な回答となっています。生徒は、日々学校で様々な体験をしており、その中で楽しかった出来事や達成感が得られた活動については、誰よりもまず、保護者の方に伝えたいと思うものです。学校での学習活動や生活が生徒にとって充実したものとなるように、教育活動の充実を図ってまいりたいと思います。